

「 おてんとうさまは見ている 」

校長 山浦 麻紀



ヒマワリ

花言葉・・「あなたを見つめている」

梅雨の季節も終盤を迎えました。太陽が顔を出してくれると窓を開けて、空気の入替えや、洗濯物や布団を干すなどの光景が多く見られます。

太陽（おてんとうさま）の力は偉大であり、地球上の生物はその力によって生命を維持できることを有難く感じます。

先日、本校の3年生の男子が突然、自分の歩いていた方向を変えて別の方向へ歩き出しました。「どうしたの？」と尋ねると、「このゴミが気になって・・・」とつぶやき小さな白いゴミを拾ってくれたのです。

先日、本校の2年生の女子が必死な表情で学年の集会場所まで小走りで向かっていました。「大丈夫よ、理由があるから怒られないからね。」と声をかけました。すると、「遅れるということは、人に迷惑をかけるということなので・・・。」とまた必死な表情で駆け出しました。

よく目にする光景として、大人であっても平気で交通ルールを無視して自転車を運転する姿があります。また、駅に近い場所では先を急ぐ人達が信号無視をして道路を渡る場面が度々あります。しかし、警察官の立つ時には、そのような行為は見受けられません。

昔の人は、誰かが見ているから、誰も見ていないからとって態度を変えたり、悪いことをしたりすることの戒めとして「誰が見ていなくてもおてんとうさまは見ているよ」と子供にしつけをしたものです。

いつの頃からか「自分さえ良ければ」、「みんながやっているから」「見つからなければ」などの勝手な解釈が世の中に大手を振ってまかり通るようになってしまったのでしょうか。ネットでの炎上と言われるような、相手を傷つけるメールや書き込みなども同様であり、非常に残念なことです。いつの時代でもやっぱり「だめなものだめ」と自制する心を持って生活して欲しいと思います。

そして、自慢の岸中学校の子どもたちには、「よいことをしていることも、おてんとうさまは見ている」ので、今までどおり陰日向なく生活して欲しいとも思います。

6月の「いじめ撲滅月間」の取り組みで、学校や学年、生徒会が披露してくれた「劇」や「呼びかけ動画」など、生徒のみなさんが先生たちと一緒に本気でいじめ撲滅について考えてくれています。私も話をしましたが、自分の行動が「本当に人として、人を大切にしているのか」と振り返ること、「いじめは絶対に許さない」と誓った自分にウソつかないことを忘れないよう願います。

岸中学校の1学期、1年生も2年生も3年生も、実によく元気にあいさつ交わして頑張ってくれました。また、学校総合体育大会では全ての部活動において華やかであり納得のいく大きな成果をあげてくれました。1学期の締めくくりとなる大きな行事、3年生の6月23日から行われた2泊3日の修学旅行では、数々の素晴らしい「最高で最強な修学旅行」を創りあげてくれました。誇りあれ、岸中生！ この調子で「岸中 前へ！」

保護者の皆様、地域の方々にも多くの場面で応援を頂き心より感謝致します。